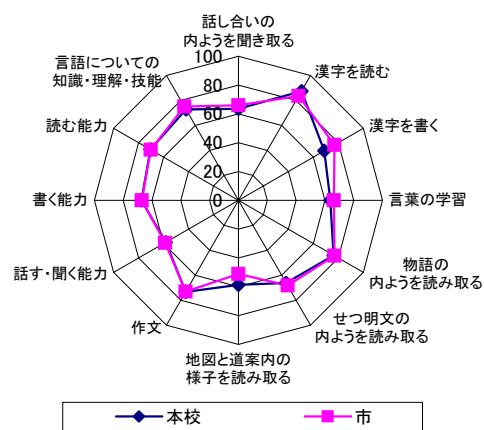


宇都宮市立緑が丘小学校 第4 学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	63.5	66.1
	漢字を読む	87.5	83.5
	漢字を書く	68.8	76.9
	言葉の学習	63.7	66.2
	物語の内ようを読み取る	76.2	77.0
	せつ明文の内ようを読み取る	66.1	68.3
	地図と道案内の様子を読み取る	58.6	51.2
	作文	73.4	73.1
観点別	話す・聞く能力	58.2	58.9
	書く能力	67.3	67.2
	読む能力	70.5	70.2
	言語についての知識・理解・技能	72.9	75.1



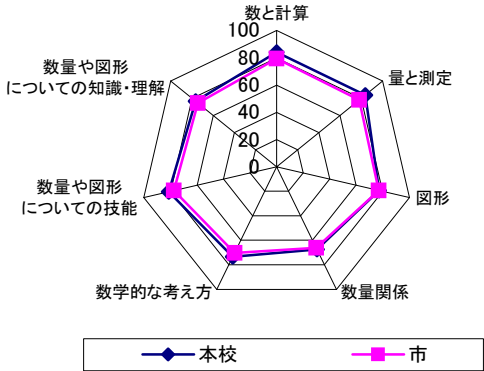
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・本校は63.5%と宇都宮市の正答率より3%近く下回っている。特に、話し手の考えの共通点を聞き取って、考えて記述する問題の正答率が低かった。	・メモを取りながら聞き取りをしたり、話し手が最も言いたいことを意識して聞くことができるようにしたい。そのためには、日常生活の中で一回で正確に聞き取ることができるよう、多くの機会を設定し、大事なことを落とさず聞く訓練をしていく。
漢字	・漢字の読みは、宇都宮市の正答率を4%上回っているが、漢字の書きの方は、宇都宮市の正答率を8%も下回っている。特に「幸福」の誤答が多かった。	・朝の学習や国語の授業の中で、漢字の書き順や漢字練習を繰り返し行い、更に習熟を図る。既習の漢字は書く活動の中で、意識して使うように指導する。
言葉の学習	・本校は63.7%と市の正答率より3%近く下回っている。文の構成についてはだいたい理解しているが、漢字辞典の使い方についての設問の正答率が低かった。	・国語の授業の中での漢字辞典の使い方の単元に時間をかけ丁寧に指導する。また、単元終了後も授業や朝の学習の中で、漢字辞典を引く機会を多く与えて、漢字辞典の使い方を習得させていく。
物語の内ようを読み取る	・本校は76.2%と市の正答率よりわずかに下回っている。登場人物の気持ちの変化を読み取ることはできていた。	・情景や様子、登場人物の気持ちを、叙述に即して読み取ることの大切さを、学習の中で指導する。 ・読書タイムや学校図書館利用の充実を図り、読書の楽しさを味わわせるとともに、質のよい読書を指導する。
せつ明文の内ようを読み取る	・本校は66.1%と市の正答率より2%近く下回っている。文章の要点を読み取る問題は正答率が90%とほとんどの児童ができていたが、細かい点に注意して文章を読み取る問題の正答率は50%だった。	・説明的文章の中で、接続詞などを手がかりにしながら、段落相互の関係を捉えて読み取ることの大切さを、丁寧に指導する。
地図と道案内の様子を読み取る	・本校は、市の正答率より7%近く上回っている。	・授業の中で地図を示しながら、順をおって丁寧に指導し、正しく読み取らせるようにする。
作文	・本校は73.4%と市の正答率よりやや上回っている。	・文章を書く機会を増やすとともに、作文指導のねらいを押さえた個別指導の徹底を図り、文章表現力を高めていく。段落構成にも気を付けさせて文章を書かせたい。

宇都宮市立緑が丘小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	84.0	79.4
	量と測定	83.6	77.9
	図形	77.0	76.8
	数量関係	67.4	66.2
観点別	数学的な考え方	73.5	70.2
	数量や図形についての技能	81.3	77.1
	数量や図形についての知識・理解	76.6	74.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・平均正答率は、市の平均正答率を4. 6%上回っている。しかし、分数の表し方を理解していないために、数直線上に示された分数を読み取ることができていない。	・分数の学習をする際は、分数を数直線上に示すだけでなく、分数の大きさの比較も取り入れながら、分数の表し方を指導する。
量と測定	・平均正答率は、市の平均正答率を5. 7%上回っている。しかし、複合図形の面積の求め方を理解しているが、図に示された条件に合う式を適切に選択することができていない。	・複合図形の面積を求める学習では、長方形などを組み合わせた形の面積の求め方を、図に補助線をかきこんで解くように指導する。
図形	・平均正答率は、わずかだが市の平均正答率を0. 2%上回っている。しかし、球の半径と直径の関係を理解していないために、球が入る箱の辺の長さを求めることができていない。	・球の学習をする際は、円の半径と直径の関係を復習してから、球の中心を通る面が円であることを理解させる。そして、球の半径を用いて解く問題では、真上または真横から見た図に、半径や直径をかきこんで解くように指導する。
数量関係	・平均正答率は、わずかだが市の平均正答率を1. 2%上回っている。しかし、折れ線グラフの変化について理解しているが、同じグラフ用紙に表された2つの折れ線グラフから、問われているグラフを選択することができていない。また、二次元の表のよみ方は理解しているが、それを利用した応用問題を解くことができない。	・折れ線グラフの学習では、同じグラフ用紙に表された2つの折れ線グラフも取り上げて、それぞれの傾きをよんだり特徴を調べたりするように指導する。 ・2次元表のよみ方やかき方について、スキルアップ問題等で習熟を図る。